

# 歩く、繋がる。

「歩く」ことに注目が集まっている。様々なウォーキング大会が開催され、さらにはマラソン大会にも多くの参加がある。「ダイエット」や「生活習慣病の予防」など健康面で「歩く」ことに関心が高まっているというのがあるが、それだけではなさそう。

車社会のアンチテーゼとして「歩いて暮らせるまちづくり」提唱され、京都では「歩くまち・京都」憲章を定め、様々な施策が展開されている。

まちづくりにおいては自分たちのまちを見直す手法として「まち歩き」が行われる。普段生活しよく知っていると思っているまちでも、改めてじっくりみると、仲間と共に歩くことによって、それまで気がつかなかったことを発見することができ、それがまちに対する愛着を生む。

本特集では「歩くことは楽しい」「歩くことが新しい発見や発想につながる」「歩くことによって、新たな繋がりが生まれる」といった視点から「歩く」ことの意義を見直してみたい。



## 目次

### 特集

- 02 都心を歩く
- 03 中津川を歩く
- 04 津島を歩く
- 05 旧街道を歩く
- 06 Barcelonaを歩く

### SPACIA Reports

- 07 商店街オープンinナゴヤの取り組み
- 08 祝完成
- 09 岐阜イーストライジング
- 10 再生陶磁器の経済波及効果
- 09 都市と水辺デザイン
- ペルー・アメリカ・スペイン

### 視察レポート

- 11 都市装置としてモール（ホコ天）とパサージュ（小路）

所員紹介／業務内容  
 スペーシアの歩み／情報発信

社外報 ラバダブ

# RUB-A-DUB

January 2019 Vol.22

発行:(株)都市研究所スペーシア